

# うっしっしいー情報2024

12月市



豊岡農業改良普及センター

12月11日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が107万6千円、雌が90万8千円でした。

普及センター調べ（税込価格）  
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	4	0.972	1,023,550	2	0.961	886,600	6	977,900
丹波篠山	5	0.961	1,094,500	2	0.701	373,450	7	888,486
丹波	16	1.020	1,134,925	17	0.856	836,971	33	981,433
朝来	8	1.004	1,186,213	14	0.917	942,621	22	1,031,200
播磨	28	0.918	1,003,907	6	0.743	628,100	34	937,588
美方郡	87	0.977	1,046,201	52	0.887	975,023	139	1,019,573
豊岡	19	0.982	1,066,595	12	0.855	867,258	31	989,432
養父	30	0.993	1,206,297	18	0.893	1,029,722	48	1,140,081
摂津・神戸	19	1.018	1,067,984	17	0.852	852,047	36	966,014
県北C	6	0.927	978,450	4	0.782	744,425	10	884,840
市場全体	222	0.978	1,076,400	144	0.870	908,470	366	1,010,329

# 12月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸若土井	27	0.994	1,256,404	29	0.863	986,434	56	1,116,598
2	丸池土井	13	0.944	1,133,931	7	0.862	918,186	20	1,058,420
3	丸彩土井	12	0.983	965,892	7	0.865	1,160,971	19	1,037,763
4	藤彦土井	13	1.006	1,078,254	5	0.863	845,900	18	1,013,711
	総計	222	0.978	1,076,400	144	0.870	908,470	366	1,010,329
5	忠味土井	22	0.966	1,052,250	8	0.832	889,488	30	1,008,847
6	茂貴波	18	0.995	1,051,906	4	0.861	787,600	22	1,003,850
7	茂和美波	8	0.945	1,039,913	5	0.886	925,320	13	995,838
8	山伸土井	36	1.010	1,069,933	25	0.943	883,608	61	993,570
9	忠正土井	21	0.970	1,047,043	10	0.805	837,760	31	979,532

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

## ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸若土井	B	A+	A++	A+	A++	A+
2	丸池土井	C	A++	D	B	A+	A++
3	丸彩土井	B	B	A++	C	A	C
4	藤彦土井	A+	A	C	D	D	B
5	忠味土井	B	A+	A	C	A+	A+
6	茂貴波	A	A+	D	C → D	B	B
7	茂和美波	B	A+	C	B	A	A
8	山伸土井	A	A++ → A+	D	A+	A+	A
9	忠正土井	C	B	A+	C	B	B



バックナンバー  
はここから

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和6年8月現在)

# 種付けは期間限定…発情の始まりを見逃すな！

## はじめに

「発情を見つけたけど、授精師さんと呼ばれた頃にはもう出血していた…」、「種付けしたけど、種付け後にも発情っぽい行動が続いている…」といった声をちらほら耳にします。正常に受精し、受胎率を高めるためには、排卵に合わせて適期に種付けを行うことが大切です。そこで今回は、適期に種付けを行えるように、牛が発情し排卵、受精に至るまでの動きについて改めて考えてみましょう。

## 1 発情から排卵、受精に至るまでの動きを確認しよう！

### ①精子・卵子の動き

種付けを行ったからといって精子と卵子はすぐに受精するわけではありません。種付け後、精子は子宮内を移動し、卵管で6～12時間程度貯蔵された後、受精能（受精できる能力）を獲得します。その後、排卵された卵子と出会い、受精します。ただし、常に受精できるわけではなく、精子の寿命は種付け後約24時間、卵子は排卵後約6～10時間とされています。

### ②発情から排卵まで

牛の発情持続時間は7～15時間程度、発情開始から排卵までの時間は約30時間とされています。

従って、発情終了前後に種付けを行えば、精子が受精能を獲得し、精子と卵子が受精能を保持している間に正常に受精する確率が高まると考えられます（図1）。

ただし、発情後の種付けが早すぎると、排卵し受精に至るまでに精子の活力が落ち、受胎率が低下することが懸念されます。そのため、実際の現場（豊岡）では、発情から24時間後に種付けを行う場合もあるようです。

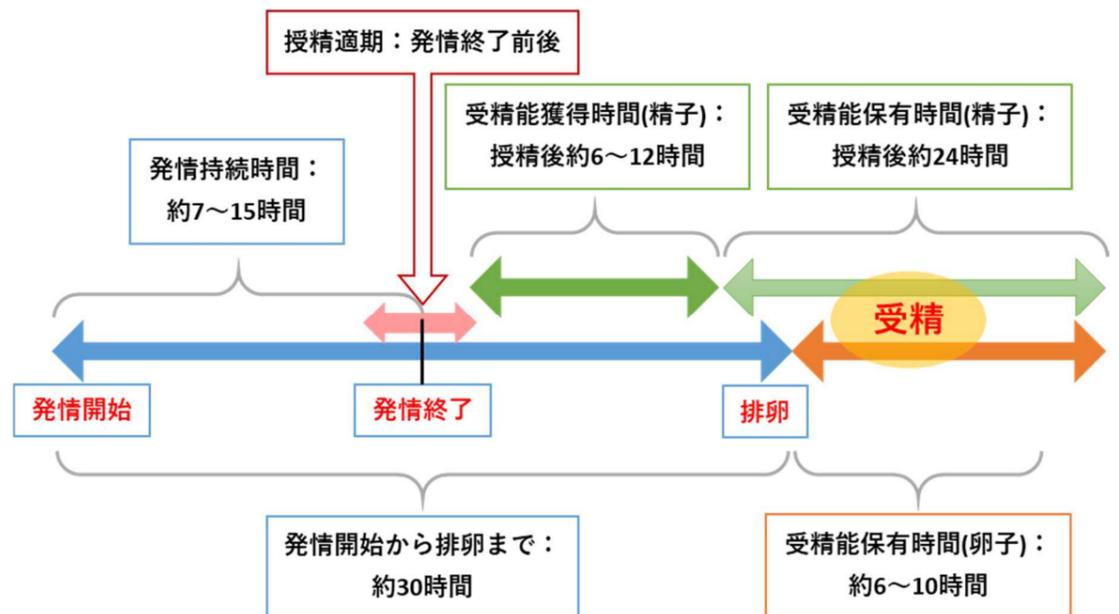


図1 発情から受精までの動き

## 2 いつから発情しているかが重要です！

発情を見つけても、いつから発情しているのかが分からなければ、適期に種付けは行えません。先述した通り、発情は約半日続くため、終わりがけの発情を見つけ、翌日に種付けを行ったとしても適期は過ぎ、受胎に結びつかないかもしれません。そのため、いつから発情兆候が見られていたのか、観察、把握しておくことが重要です。

牛の発情周期についておさらいしておくと、経産牛は約21日（18～24日）、未経産牛では約20日（17～23日）で、①発情前期、②発情期、③発情後期、④発情休止期の4つのステージに分けられます。発情期にかけて段階的に発情兆候が発現し、頻繁に鳴く、陰部の充血や腫れ、透明な粘液などの兆候が見られるようになります。特に、スタンディング行動は強い発情状態を示す指標になります（表1）。日々の観察の中で、牛の行動や陰部の変化などには特に気を配り、発情が始まったタイミングを押さえられるようにしましょう。発情サインについては、先月の牛市情報でも触れているので参考にしてください。

表1 発情周期中の発情行動と陰部の変化

	排卵からの日数	発情行動	陰部
①発情前期	3～4日前	頻繁に鳴く マウンティング	軽度の充血・腫れ 少量の半透明粘液
②発情期	1～2日前	スタンディング 頻繁に鳴く マウンティング	充血・腫れ 透明で牽糸性粘液
③発情後期	1日前～2日後		充血・腫脹の消退 出血
④発情休止期	3～16日後 黄体退行開始まで		充血・腫脹なし 緊縮

参考資料：家畜人工授精講習会テキスト

## さいごに

今回受精に至るまでの動きを再確認しましたが、受精が成立するタイミングは限定的です。現場では、牛ごとに発情や排卵のタイミング、種付けの適期は異なると思います。しかし、適期に種付けに向かうためには、まずは皆さんの日々の観察が何より重要です。発情サインを見逃さないことはもちろん、いつ発情したかをしっかりと押さえ、適期に種付けを行うことで、より良い繁殖経営を行いましょう！